

VLBI 運営小委員会報告

藤沢健太（委員長）

（１） VLBI 運営小委員会

VLBI 運営小委員会とは国立天文台が設置する委員会の1つであり、電波専門委員会の下部に位置している。任期は2年で、今期は2016年から2018年である。構成員は下記の通りで、天文台内が6名、天文台外が9名の計15名である。

天文台内：郷田、小林、齋藤、立松、廣田、本間（副委員長）＋柴田（オブザーバー）

天文台外：今井、川畑、関戸、高橋、中井、藤沢（委員長）、嶺重、村田、米倉

（２） 今期の委員会の議論の方針

1. 水沢 VLBI 観測所が所有する各望遠鏡・アレイの運用方針やそれを用いた研究活動等について、科学的成果を最大化する観点から議論と提言を行う。
2. 水沢 VLBI 観測所を中心とする VLBI に関連する研究活動の将来的な方向性・計画について、議論と提言を行う。
3. その他水沢 VLBI 観測所および VLBI に関連する事項について検討する。

（３） 今期の議論の進め方

今期2年間6回の委員会で、次の予定で将来計画の議論を行う。

第1回 2016年11月 方針決定

第2回 2017年2月 国内アレイ：VERA, JVN について報告

第3回 2017年6月 KaVA、EAVN、NRO45m の多周波・ミリ波 VLBI 計画について

第4回 2017年10月 SKA、ngVLA について報告

第5回 2018年2月 ミリ波、気球、ミリ波・サブミリ波大型アンテナについて

第6回 2018年6月 議論のまとめ

（４） ユーザーとの関係

国立天文台は共同利用研究機関であり、大学等の研究機関に所属するユーザーの意見に基づいて、共同利用の研究機会を提供することが運営における基本的な方針である。VLBI に関連する研究について、国立天文台の方針を議論する場の一つが VLBI 運営小委員会であるといえる。

本小委員会の主な議題は、共同利用のあり方と、将来計画である。国立天文台の VLBI 研究の方針に意見や提案がある場合は、上記の委員を通じて本小委員会で議論を行うことが可能である。